

2015 年度

尚巴志語り部新聞

5

さあ、尚巴志物語を仕上げましょう



二〇一五年度南城市尚巴志の語り部育成事業の最終局面がやってきました。昨年度からコツコツと積み上げてきた、尚巴志に関する知識と感覚、そして創造性を原稿用紙の上に落とし込み、尚巴志の物語を書き上げていきます。一月から計三回の講座を創作のための時間としました。

今までは、「みんな」で行ってきた活動ですが、創造性を必要とする作業ということもあり、個人的な作業となりました。まさに孤独との戦いです。しかし、いつも同じように富田めぐみ先生と上里隆史先生はいつでも待機し、参加者の必要に応じて支援を与えられる体制はとっています。昨年度作った「十の物語のたね」から芽がでて、「十の台本」ができあがりました。これら台本を富田先生が校正と構成をし、二月二日にシュガーホール集會室で行われる披露会で演じられることとなります。(来年度は参加者が演じますが、本年度は時間の関係上、プロに演じてもらい、来年度の参考にします)

最後の講座では、富田先生により手直しが施された各台本を、富田先生と一人ひとりの作者である講座参加者とで、最終の調整が行われ、参加者が物語に託した意図や子どもたちへのメッセージなどがズレていないか確認されました。創作では富田先生、歴史分野では上里先生が支援をしています。主体はすべて参加者であるお母さんたちです。その島々に根ざした沖縄の音楽が長く愛され、生き残ってきたように、物語においても、その土地で生活するものが作り上げていくことが、長く語り継がれるものになるのかと考えています。

さあ次は披露会です。■

ありがとうございました



講座では、「創造」的な台本作りをどのように「みんな」で作っていくかを悩みました。その肝となる講座のデザインは参加者と講師そして事務局を含め話し合いながら決めていき、「創造」の部分は「個人」が担うこととなりました。その「個人」が十個集まって台本となり、「みんな」が見えてくる形になります。上述したことです。その後、富田先生のプロとしての修正が入り、その修正についても、富田先生自ら参加者の意向を一人ずつ聞いていく作業をしてくれました。

講座に参加していただいた方々には、創造の苦しみを快く負ってもらい、富田先生には、複雑な作業を喜んで受け入れてもらい、まさに「みんな」がそれぞれの役割で演じ、「みんな」で活動を作り上げることで、きたかと思いません。みなさまの気持ちに感謝しております。ありがとうございました。■

披露会について

披露会において、講座参加者の役割は「台本作家」であるとともに、制作の作業にも関わってもらっています。披露会を観てもらいたい人たちへのプロモーションや、舞台設置作業、観客の受付作業等裏方としての活動にも積極的に関わってもらっています。本事業のタイトルと「語り部育成」ということになっていますが、尚巴志を語り継いでいく活動が継続的になるためには、講座参加者がプロデューサーの役割を負う必要が出てくることを想定してのことです。

本年度の披露会では、台本は講座参加者、演じるのはプロに任せる、という形になっております。しかし、実は講座参加者が舞台に立つ部分もあります。昨年度から進められている本事業は、事業の中では舞台用台本を作る役割を負っています。が、それだけでは物足りない講座参加者たちが、自分たちの読み聞かせ物語を作ってしまったのです。その物語集は本年度中に冊子になり、市内小学校に配られる予定ですが、その物語の一部を披露会でも演じてもらうことになりました。長さとして、一五分ほどの小品ですが、

プロが出る舞台の前に、演じるその度胸は驚き以上のものがあります。日頃、小学校で読み聞かせをしているのですが、大きな自信につながっているのでしょうか。おそらくそのことは本人たちも自覚していないかと思えます。

披露会当日は事業の説明や講座参加者の感想も入れながら、一時間三〇分ほどのプログラムになります。プログラム終了後は、富田先生の提案である「ふりかえり会」を計画しております。講座参加者でお時間のある方は参加してもらえたらと思います。また、時間が無いよ！という方も、最初のところだけは参加してもらえると嬉しいですが、がんばりましょう！

事務局スタッフのひまわり

9月から始まった講座ですが、気がつけばもう終わりになるうとしています。講座の参加について「これは日常生活の延長か」とツッコミを入れたくなるような、普通感が漂っていて、良いことなのか、悪いことなのか、判断がつかないのですが、継続する形かなと思っています。まずは、披露会をみんな楽しんでみましょう。そしてその後のことをいっしょに語れたらと思います。(石田)

今後の予定

第二回 二月二日(日)

「できあがった台本による舞台披露会」

特別講座 三月九日(水)

「群読って何？ワークショップ」

講師 重水健介さん(日本群読教育の会 事務局長)

次回(第二回)の予定

日程：二月二日(日) 時間：一三：三〇～一五：〇五

場所：シュガーホール集会室



いよいよ本年度最後の活動になります。
みなさん、力を抜いて頑張ってください。
当日はそれぞれ会場入りの時間が違います。
各々でご確認をお願いします。
何かあれば、岡元までご連絡ください。